

府養研ニュース

2006年3月号

平成18年3月20日発行 大阪府養護教育研究会（広報部）事務局
柏原市立国分中学校 会長 多根井 次郎 〒582-0021 柏原市国分本町7-1-20
問い合わせ・ご意見は、Mailで本部役員まで jimukyoku@fuyouken.visithp.jp 変更しました。
件名に「府養研問合せ」など「府養研」を入れてください。

ホームページもご覧ください。 <http://fuyouken.visithp.jp>

◎特別支援教育の動向、関連リンク紹介などの各種情報をご覧になれます。

○ニュースの全部とバックナンバー、講演会案内、報告をご覧になれます。

府養研ニュースは毎月Eメールで配布されています。今月は記事の関係で発行を2週遅らせました。来月4月号も17日頃発行予定です。メール網がまだ整備中もしくは検討中の市町村は、郵送または通送されています。

トピック 3月7日に国会提出された、学校教育法等の一部を改正する法律案について、下記に公開されています http://www.mext.go.jp/b_menu/houan/an/164.htm

平成18年度 府養研役員総会の予定 府養研の支部役員、本部役員が集まり、年間活動について、計画を立てます。次年度役員になられる方、支部の予定を組まれる方、日程にご注意とご配慮を下さい。

第1回平成18年	6月 8日（木）午後3時～5時	すべて会場は
第2回平成18年	9月 7日（木）午後3時～5時	アウイーナ大阪
第3回平成19年	1月11日（木）午後3時～5時	3階 生駒の間

平成18年度 府養研総会の予定（会員であればどなたでも参加できます。）

平成18年5月11日（木）午後3時～5時	アウイーナ大阪
総会次第終了後、講演会が予定されています。	3階生駒の間

詳細は4月号に添付予定の総会案内をご覧ください。

行事部・本部から

府教委・府教育センターとの懇談会

府養研と大阪府教育委員会障害教育課、大阪府教育センター特別支援教育研究室との懇談会が2月10日（金）マッセOSA

KAにて行われました。

府養研からの事業の紹介の後、府教委・センターからは、特別支援教育推進体制モデル事業、特別支援学校（仮称）のセンター的機能、特別支援教育コーディネーター、免許状取得促進、養護教育諸学校・小中学校・幼稚園・保育園・高等学校等間の連携、関係機関や他職種との連携、公立高等学校知的障害生徒自立支援コースの本格実施、大阪府立たまたがわ高等支援学校の新設と共生推進教室についてなど、多くの内容について報告があり、意見交換がなされました。また、今後大阪府養護教育研究会が担うべき課題についても話し合われました。この懇談会は毎年行われています。

<http://www.pref.osaka.jp/kyoisomu/index.htm>（府教委のHP）

<http://www.osaka-c.ed.jp/>（府センターのHP）

研修部から

教育講演会の報告 写真とアンケート あり	2006年2月2日(木) 行動障害の子どもたちの理解と対応 ー関わる人たちの共通理解と一致した対応を求めてー 講師 兵庫教育大学助教授 井上 雅彦 初心者からベテランまでが納得でき、明日からの現場での子どもへの対応、教師間の連携に生かせる内容が分かりやすく語られました。
-----------------------------------	--

研究部から

自閉症プロジェクト シンポジウムの報告	2006年2月4日(土) 一部の事例研究会では広汎性発達障害への理解を深め、アプローチの具体的工夫の紹介。二部では広汎性発達障害のご本人から、学校時代の困ったことや助けられたことが生の声で聞けました。
------------------------	---

支部から

<http://fuyouken.visithp.jp/shibu.htm>

中河内支部

東大阪市養研 兼、中河内養研 実践報告会	東大阪市養護教育研究会の全体会が2月7日(火)に東大阪社会教育センターで行われました。当日は東大阪市立八戸ノ里東小学校の森岡比呂志先生が「自閉症の子たちと学ぶ～養護学級における算数学習～」というテーマで実践報告されました。中河内養護教育研究会を兼ねていたため、八尾市や柏原市からも多数の先生方が参加されました。 詳細はHPへ
東大阪市養研作品展	1月28日(土)～1月30日(月)、例年、東大阪市民会館で行っていましたが、今年は、荒本にある東大阪市総合庁舎にて行うことになりました。場所は狭くなったのですが、配置の工夫から作品のボリュームはかえって増したようです。それぞれ子どもたちの特性を生かした作品づくりでアイデアにあふれています。生駒ケーブルTVでも紹介されていました。
八尾の小さな巨匠展	八尾の小さな巨匠展が、2月1日から3日間、八尾市光町2丁目の市文化会館で開かれ、1000人を越える市民が訪れました。八尾市教育研究会障害教育研究部主催。(八尾市のホームページに紹介されています) http://www.city.yao.osaka.jp/

他団体から

ムーブメント教育 研究会のご案内 案内と前回の報告 添付	平成18年4月15日(土) 14:00～16:00 於 大阪教育大学附属養護学校 ムーブメント教育に興味をもたれた方、勉強してみたいと思われる方、まだムーブメント教育を知らない方々もどうぞ。主催 ムーブメント教育 研究会
チャレンジキッズ研 究会(特別支援教育 ネットワーク利用授 業実践研究会) 申込み必要	「子どもと教師を支援するために！」 ーみんなといっぱいコミュニケーション・おもちゃ遊び、そして情報教育ー ーインターネットで実現した「子どもネットワーク」と「先生の連携」ー 2005年3月25日(土) 13:00～16:30 西日本会場 滋賀大学教育学部附属養護学校 その他詳細は1月の案内を

府養研ホームページ情報コーナーもご覧ください。

<http://fuyouken.visithp.jp/joho01.htm>

2006年2月2日(木) 行動障害の子どもたちの理解と対応

—関わる人たちの共通理解と一致した対応を求めて—

講師 兵庫教育大学助教授 井上 雅彦

教育講演会のアンケートから

- ・ 支援体制について、見通しが見えた講演でした。学びあえる教師集団を目指して、担任との協働により課題に対して効果的に取り組む支援体制の構築が見えました。
- ・ 行動に問題がある場合、考え方ひとつでうまくいくことと、他人に迷惑をかけ対応していくべき行動とがあり、きちんとした対応の必要性などからくわしくお話くださってわかりやすかったです。井上先生の対応、話し方も静かでとても聞かせていただきやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 明日から実践できそうなヒントやアドバイスをたくさん教えていただいたり、子供の行動の意味や観察の生かし方が具体的にわかりやすいお話だったり、とても勉強になりました。
- ・ たいへん役に立ったし、お話も楽しかった。井上先生はゆっくりと温かい話し方で気持ちよくお話が聞けた。子供への愛情が感じられた。ビデオも大変興味深く、役に立つ映像だった。また、こういう講演があれば来たい。
- ・ 特別支援教育をするためには、スモールステップを実践していける素地づくりが大切であり、教師の側の問題が大きいと言われました。教師側のこうでなければならぬというこだわりをなくし、教師間のコミュニケーションによる共通理解の大切さを話されました。全くそのとおりだと思います。
- ・ 初心者でもわかり、知識のある者にとっても再認識できてよかったです。現実の事例もあげてもらったので、わかりやすかったです。最後のビデオはとてもよかったです。本当にその変化がわかり、まわりが協力していけば必ず向上していくということがよくわかりました。
- ・ 問題行動を起こさなくてもすむ事前の対応の仕方、準備など勉強になりました。より具体的な言葉かけの効果など参考になりました。教師間の認識の大切さを改めて考えさせられました。
- ・ 書物ではなかなか理解しえない具体的なお話ありがとうございました。



ムーブメント教育 研究会のご案内

ムーブメント教育は、1977年に横浜国立大学教授・小林芳文博士によって、初めてわが国に紹介されました。『人間尊重』の教育の基本理念として、子どもの自主性・自発性を重視し、究極的には子どもの『健康と幸福感の達成』をめざしています。この素晴らしいムーブメント教育について、ともに勉強し、日々の教育実践に反映させ、楽しいムーブメント教育を広げたいと考えています。

すでに東京、神奈川、福井、石川、富山、長野、千葉、茨城、北海道、青森、徳島、愛媛ほか、各地でムーブメントの研究会や子どもや成人老人等を対象としたムーブメント教室が開かれています。楽しいことが好きな大阪にも、ムーブメントの風を起こしていきませんか？

今回、この研修会に参加されてムーブメント教育に興味をもたれた方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひこれからも参加してください。また、まだムーブメント教育を知らない方々も仲間でおられたらぜひお誘いください。

研究会の予定

日時 平成18年4月15日(土) 14:00~16:00

会場 大阪教育大学附属養護学校

大阪市平野区喜連4-8-71

大阪市営地下鉄谷町線 喜連瓜破駅下車 3番出口より東へ約

150m

参加費 500円

偶数月 第2土曜日 を 基本として、進めていこうと考えています

運動しやすい服装と体育館シューズをご用意ください

問い合わせ (参加申し込み) (自宅・携帯・メールをお願いします)

大阪教育大学 附属養護学校 金川朋子

E mail kogorou123@nifty.com

携帯 090-9984-1183 自宅 FAX 072-367-0713

き り と り

平成18年4月15日(土)研修会 参加申し込み用紙

ご氏名(ふりがな)	所属名	連絡先

* 複数枚必要な場合は、おそれいりますが、コピーをしてお申し込みください。

ムーブメント教育研究会について

ムーブメント教育は、1977年に横浜国立大学教授・小林芳文博士によって、初めてわが国に紹介されました。『人間尊重』の教育を基本理念として、子どもの自主性・自発性を重視し、究極的には子どもの『健康と幸福感の達成』をめざしています。

この素晴らしいムーブメント教育について、ともに勉強し、日々の教育実践に反映させ、楽しいムーブメント教育を広げていきたいと平成17年10月から大阪でも研究会を立ち上げ、少しずつ仲間が広がってきています。

12月の研究会では、横浜国立大学教授小林芳文博士を招き100名以上の先生方が参加した研究会を行うことができました。

大阪のムーブメント教育研究会への参加者は、幼稚園、保育園、小・中学校の養護学級担任、大阪府立、市立養護学校の先生、そして神戸からの参加者も含まれています。

また、長年ムーブメント教育の実践に取り組んでこられている先生、はじめてムーブメント教育を勉強しようとする先生など様々な先生方が、実践を中心に研究を進めています。



【12月研究会の様子】

〔参加者の声〕

- ・ 『ムーブメント教育』という言葉しか知らなかったのが、どんな教育なのか、またどんな教育実践があるのか、ふれることができてとてもよかった。
- ・ 身体を動かしてみることで、新しいアイデアがでてきそうでよかった。
- ・ 実際にやってみて、自分自身が一番楽しめた気がします。自らが楽しめたからこそ、その楽しさを子どもに伝えられると思います。現在、肢体不自由校(高等部)にて音楽を教えていますので、ロープやダンスは今すぐにも実践していきたいです。
- ・ 基本的なことですが、『子どもに何を学んでほしいのか?』の中から実践を考えていくことの大切さを再認識しました。

平成18年8月26日(土曜日)～8月27日(日曜日)

特定非営利活動法人 日本ムーブメント教育・療育協会 大阪支部

夏季セミナーも予定しています。